

《担当者名》教授 / 泉 剛  
教授 / 青木 隆 講師 / 水野 夏実

## 【概要】

人体の構造と機能について基礎的事項を学ぶ。  
病態・薬理学・治療学を理解する上で基礎となる正常な人体の構造と機能を学ぶ。

## 【全体目的】

人体の構造と機能について基礎的事項を学び、病態・薬理学・治療学を理解する上で基礎となる知識を身につける。

## 【学修目標】

正常な人体の構造と機能について理解し、説明できる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	人体の位置・骨と関節 ・教科書1：1章「からだの区分と名称」 ・教科書1：1章「筋骨格系～全身の骨格 骨の構造・関節の形態としくみ」 ・資料を配布する	人体の位置・方向を示す用語を説明できる。 骨格・関節の構造を説明できる。 骨の微細構造と骨芽細胞、破骨細胞の役割やCa/P代謝の仕組みについて説明できる。 骨髄の構造と機能について説明できる。  関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 C7-(1)- 、 C7-(2)- 、 C7-(2)-	水野 夏実
2	感覚器1 ・教科書1：p90～95, p122～127 ・教科書3：p188～199, p212～245 ・教科書5：p120～152 ・教科書6：p227～246	感覚器の構造と機能について説明できる。 皮膚感覚、視覚の感覚器の構造と感覚の経路について説明できる。  関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 C7-(1)- 、 C7-(2)-	泉 剛
3	感覚器2 ・教科書1：p128～141 ・教科書3：p212～245 ・教科書5：p120～152 ・教科書6：p227～246	感覚器の構造と機能について説明できる。 聴覚・平衡感覚、嗅覚、味覚の感覚器の構造と感覚の経路について説明できる。  関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 C7-(1)- 、 C7-(2)-	泉 剛
4	神経系1 ・教科書1：p76～89, p106～121 ・教科書3：p2～59, p138～151, p160～257, p456～461 ・教科書5：p78～118 ・教科書6：p159～194, p209～226	末梢神経系の脳神経と脊髄神経について構造と機能を説明できる。 運動神経、感覚神経、自律神経の関係を説明できる。  関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 C7-(1)- 、 C7-(2)-	泉 剛
5	神経系2 ・教科書1：p76～89, p106～121 ・教科書3：p2～59, p138～151, p160～257, p456～461 ・教科書5：p78～118 ・教科書6：p159～194, p209～226	中枢神経系の構造と機能を説明できる。 脊髄の分節構造と反射機能について説明できる。 脳幹の機能を説明できる。  関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 C7-(1)- 、 C7-(2)-	泉 剛
6	神経系3 ・教科書1：p76～89, p106～121 ・教科書3：p2～59, p138～151, p160～257, p456～461 ・教科書5：p78～118 ・教科書6：p159～194, p209～226	中枢神経系の構造と機能を説明できる。 大脳と小脳の機能を説明できる。 情動および高次脳機能について説明できる。  関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 C7-(1)- 、 C7-(2)-	泉 剛

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
7	排泄 ・教科書1：4章「腎臓の構造」～「膀胱と排尿反射」 ・教科書4：腎・泌尿器「解剖」 ・教科書4：腎臓「腎臓の機能」 ・教科書4：泌尿器「下部尿路機能障害総論」のうち正常の下部尿路機能 ・資料を配布する	腎臓の構造と尿の生成の仕組みを説明できる。 腎小体、尿細管、糸球体ろ過、尿細管再吸収・分泌について説明できる。 膀胱の構造と蓄尿・排尿の仕組みを説明できる。 尿管、膀胱、排尿反射について説明できる。  関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 C7-(1)-、C7-(2)-、C7-(2)-	水野 夏実
8	消化1 ・教科書1：4章「腹部の内臓」～「膵臓の構造とはたらき」 ・教科書2：該当ページは配布資料に記載する。 資料を配布する。	消化系の構造を説明できる。 消化管と消化管壁の構造を説明できる。 肝臓と膵臓の構造や働きについて説明できる。  関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 C7-(1)-、C7-(2)-、	水野 夏実
9	消化2 ・教科書1：4章「腹部の内臓」～「膵臓の構造とはたらき」 ・教科書2：該当ページは配布資料に記載する。 資料を配布する。	消化管運動および消化液分泌の仕組みを説明できる。 唾液、胃液、腸液、膵液、胆汁について説明できる。  関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 C7-(1)-、C7-(2)-、	水野 夏実
10	吸収 ・資料を配付する。	各栄養素の消化、吸収のプロセスを概説できる。 栄養素の輸送と利用について説明できる。  関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 C7-(1)- -1、D1-(3)- -2	青木 隆

#### 【授業実施形態】

##### 面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

期末定期試験（100%）で合否の判定を行う。

定期試験後は、試験問題の解答と解説を、「遠隔授業ポータルサイト（g-drive）」にアップするので、学修に活用すること。

#### 【教科書】

- 1 「人体解剖図」坂井建雄 橋本尚詞著 成美堂出版
- 2 「病気がみえる」vol. 1 消化器 MEDIC MEDIA
- 3 「病気がみえる」vol. 7 脳・神経 MEDIC MEDIA
- 4 「病気がみえる」vol. 8 腎・泌尿器 MEDIC MEDIA

#### 【参考書】

- 「コメディカルのための専門基礎分野テキスト 解剖学」中外医学社
- 「コメディカルのための専門基礎分野テキスト 生理学」中外医学社
- 「図説解剖生理学」磯野 日出夫著 東京教学社
- 「細胞の分子生物学」（第5版）Newten Press
- 「Essential 細胞生物学」南江堂
- 「ギャング生理学」原書24版 訳者代表岡田泰伸 丸善
- 「パートナー薬理学」重信弘毅、石井邦雄 編集 南江堂
- 「イラストレイテッド ハーパー・生化学」（原著30版）清水孝雄 監訳 丸善
- 「やさしい自律神経生理学」鈴木郁子編著 中外医学社
- 「人体の構造と機能」第5版、原田玲子、佐伯由香 編集 医歯薬出版

#### 【学修の準備】

当日の授業範囲を予習し、あらかじめ疑問点等を把握しておくこと（50分）。

授業終了時に練習問題等を課した場合は、次回の授業までに解答しておくこと。

授業の内容の小テストを実施することがあるので、復習しておくこと（50分）。

**【関連するモデルコアカリキュラムの到達目標】**

C7人体の成り立ちと生体機能の調節

(1)人体の成り立ち

器官系概論 神経系 骨格系・筋肉系 皮膚 消化器系 感覚器系

(2)生体機能の調節

神経による調節機構 ホルモン・内分泌系による調節機構 オータコイドによる調節機構  
サイトカイン・増殖因子・ケモカインによる調節機構 体液の調節

D1健康

(3)栄養と健康 栄養

**【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

2. 有効で安全な薬物療法の実践、ならびに人々の健康な生活に寄与するために必要な、基礎から応用までの薬学的知識を修得している。

**【実務経験】**

泉 剛(医師)、水野 夏実(薬剤師)

**【実務経験を活かした教育内容】**

医療機関での医師、薬剤師としての実務経験をもとに、臨床に直結した解剖学および生理学の知識を講義する。